



(組合員の購読料は組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5 交通ビル
国鉄労組東日本本部
発行責任者 伊藤秀樹
編集責任者 伊藤隆夫

No.641 定価 20円

2006年
5月10日

職場交流新聞

JR山手・埼京線の重大事故(四・二四)で緊急申し入れ！ 改めて「事故撲滅委員会(仮称、労使委員会)」の 設置を本社・支社に！

「JR不採用事件の早期解決を求める全国キャラバン・連鎖集会」(詳細別途記載)が五月八日・北海道からスタートし、六月一六日の東京・集結集会まで、「この機に解決を！」の流れをさらに加速させるため全国的な世論喚起の運動が展開される。

東日本においては昨年九月の大会以降一〇名もの組織拡大を数え、とりわけJR採用の若い仲間が二月以降立て続けに四名加入するなど、この間の職場からの地道な取組みが実を結んだ報告が各職場よりされている。

さて、JR福知山線脱線事故から一年目を迎えた四月二四日、JR高田馬場駅付近の山手・埼京線の線路トラブルによる輸送障害が発生。「隆起五センチ 脱線の危険」も「脱線の危険」もとマスクミが指摘しているように、一歩間違えれば大惨事を引き起こしかねないトラブルであっただけに、改めて「安全」に対する企業姿勢が求められている。国労東日本は四月二六日、「安全に対する緊急申し入れ」(申三九号)にて、この間発生している重大事故の原因究明を含め緊急申し入れを行った。

「安全に関する緊急申し入れ」・一部掲載

国労東日本申三九号(〇六年四月二六日)

JR福知山線脱線事故から一年目を迎える前日の四月二四日、JR高田馬場駅近くでJR東日本が「HEP&JESI工法」による東京都の委託で都道拡幅工事が原因でレールが、二五メートルにわたって最大五センチ隆起したため、午前一〇時三〇分頃から山手線が約五時間半、埼京線が約七時間半ストップし、湘南新宿ラインは終日運休となる重大事故が発生しました。過去にも同様の事故が二月二一日にも発生しています。

今回の重大事故に対し、マスクミ紙上においても「カーブ部分のレールが五センチ以上盛り上がり続いたら電車が脱線する危険があった」、工事についても「深夜の作業ではなく、運行中の昼間に行っていた点も問題だ」等の指摘が出ています。

このような重大事故を再び引き起こすことのない施工体制及び安全対策の確立が、JR東日本に緊急に求められています。

この間の重大事故発生の原因究明を含め、以下の通り安全に関する緊急申し入れを致します。速やかに団体交渉を開催し、誠意ある回答を示すよう強く申入れます。

記

一、四月二四日に発生した「高田馬場駅近くでレールが最大五センチ隆起」した事故の原因究明及び対策をどのように進めていくのか本社としての見解を明らかにすること。

二、二月二〇日に発生した「山手線新橋～浜松町間の軌道変状」に関する原因と対策を明らかにするとともに、施工体制の見直しを行うこと。

三、この間、二月二二日及び三月二五日に発生している新幹線の列車分離の原因と対策を明らかにすること。同時に、四月七日第四〇二C列車「越後湯沢運転整備時に分割状態発生」の原因と対策を明らかにすること。

四、重大事故を未然に防止し、安全・安定輸送確立に向け関係労組代表者が参加した「事故撲滅委員会(仮称、労使委員会)」を本社・支社に設置すること。

元国鉄職員アスベストで労災認定

アスベストによる健康被害が社会的に大きな問題になっていた昨年七月、国労組合員の兄であるSさん(当時六三才)が体調を崩し、一年程前から通院していた病院から前立腺に異常がみられるので専門の病院で検査を受けるように紹介され受診しました。

しかし、症状は腹水がたまるなど悪化する一方で一〇月三日に緊急入院することになりました。

そして、一〇月一四日、悪性上皮腫と診断され、二週間もたない一〇月二六日に帰らぬ人となりました。

彼は昭和三二年、国鉄大井工場に試用員として入り、その後、第一電車職場に昭和四三年まで在籍、転勤で新津工場に移り昭和五五年に事務掛になるまで一〇年以上にわたり工作掛としてアスベストが含まれる製品の加工にたずさわりその中でバク露したものとされます。

悪性上皮腫と診断されて以降、国労の各級機関と相談しながら鉄道建設運輸施設整備支援機構国鉄清算事業本部に対して労災認定の申請を行ってきました。

今年、三月一日付で労災として認定されました。

労災認定を中心的に取り組んできた国労組合員の弟は「認定されて当然とは言えほっとした。入院して一ヶ月も経たずに死んだことで石綿の毒性の強さをあらためて実感した。もっと早くに石綿の使用が中止されていたらもっと長生きできたのではと思うと残念だ。」

「国鉄時代には多くの職場で石綿製品が使用されており、使用者側の責任で特殊健康診断が随時・無条件で受診できるようにしてほしい。」と話しています。

新潟発・投稿(〇六年四月六日)

チョツとしたことですが、気にかかりませんが 二〇九系五〇〇番台の列車無線のことです

京浜東北線を走る二〇九系電車の指令との連絡に使用している列車無線は、旧国鉄時代から使用しているタイプの無線機です。(ずいぶんと昔から使用していますが、最近の新系列車両では、列車無線も進歩して、乗務員室から鉄道電話もかけられるタイプ)もあり、列車無線も変わりつつあります。

京浜東北線には数は少ないですが、この新しい列車無線を使用している「二〇九系五〇〇番台」が二編成導入されています。このタイプの列車無線は、隣接する構内での入替作業での無線を受信してしまうので、乗務中に「うるさい」と感じている乗務員もいたはず。

この列車無線のことで、とても煩わしい出来事がありましたので紹介します。

防護無線発報をして緊急停車！「さあ指令に第一報だ」

そのとき列車無線からは・・・

ことは土曜日の昼下がりののんびりした根岸線で起こりました。土曜日の根岸線は、横浜の観光地である山下公園や中華街に向かわれる家族連れやカップルのお客様で、普段と違い車内も「何となく明るい雰囲気」となります。

中華街の入口である「石川町駅」を発車したところ、電車は防護無線発報をして緊急停車しました。運転士からの「異音感知のために防護無線を発報」との連絡を受けた車掌は、「異音感知ならば、さほど時間はかからないだろう」と高をくくっていました。

ところが、運転士からは「こちら側の無線では指令との連絡ができないので、車掌側の無線で指令に連絡してほしい」と頼まれて、車掌が指令に連絡しようとしたところ、無線機からは「列車運転士さん、ブレーキ試験・・・」との無線が入り始めてしまい、指令に連絡するにも混信しているなかで連絡する羽目になってしまいました。

車掌は、運転士からの車内電話と指令からの列車無線との対応に追われて、とても「高をくくっている暇」はありませんでした。

このタイプの列車無線は、貨物の入替作業や客車列車の組成作業のある「田端運転所・田町車両センター・鶴見駅・根岸駅」付近では、よく構内での無線を受信していましたが、こうした緊急停車での指令への連絡するときに混信してしまうと、本当に煩わしくなります。

多目的無線がシンプルな無線か？

どちらがいいのでしょうか？

現在、東京総合車両センターでは「デジタル無線化工事」を順次実施しています。この改修工事は、現在の無線よりも「膨大な情報量」を送受信できるようになり、「より鮮明な無線」に変わるようです。いずれは京浜東北線にも導入されますが、「膨大な情報量」で混信しては困ります。列車無線にも様々なタイプもあり、乗務員 指令間のシンプルタイプ・乗務員 指令間と乗務員 駅・乗務員間の両方に使用できるタイプもあるなかで、それぞれの線区に合わせたタイプにしてもらいたいものです。せめて、二〇九系五〇〇番台の列車無線は改修工事が必要ではないでしょうか。

「分会かべしんぶん」 国労蒲田車掌区分会 224(〇六年四月)

作業中に負傷

二月二三日、東海道ホーム倉庫内で鉄骨に頭を痛打する事故

が発生した。品川ペンディングには現在一七カ所の倉庫があるが、(他に二カ所の入荷用の台車を保管する倉庫がある)その内一四カ所が階段下のスペースを利用した場所に作られている。その中でも最悪な倉庫が四カ所ある。今回そのうちの東海道倉庫で事故は起きた。階段下という特質上、奥に入るに従い狭くなり体をかがめなければ商品の出し入れが出来ない。

そのつえに鉄骨があり、一応クッションが表の方に巻かれているが裏の方には巻かれていなかった。当日本人は腰をかがめ奥の商品を取り上げ、台車に商品を載せようと振り向きざまに鉄骨に頭を痛打したのである。帰着後、その旨を報告し病院には行かなかつたが、助役が薬局で買ってきた湿布薬で応急手当をした。対策として鉄骨の裏の方にもクッションを取り付けたことが終了点呼で言われた。しかし、問題はこのような階段下のスペースを簡易な倉庫として使用させていること、又、奥まで商品を入れなければならないような商品の入荷個数や種類の多さにある。分会はこの間、倉庫の新設や倉庫スペースに見合った入荷個数の制限！さらには倉庫内の照明の設置要求を出しているが「予算の都合」で改善されていない。

改めて要求する！

会社側は私たちの要求を早急に聞き入れ倉庫の新設と改善、そして入荷個数の制限や種類の制限をすること！

「ねじばな」 国労品川事業所分会 13(〇六年二月二日)

再雇用制度を活用し 悔いのない選択を

地区本部は二月から三月にかけて熟年者を対象とした交流集會を宇都宮地区と大宮地区で開催した。これは主に一八年度募集の再雇用制度応募にあたっての意思統一で、シニア再雇用制度や今日までの応募・採用状況、改正「高齢者雇用安定法」の趣旨説明などが地区本部から行われた。シニア再雇用制度は平成十二年から導入された制度だが、ここに来て今年四月実施の法律改正により環境が変化することになる。昨年の大宮地区本部内対象者は四六名。そのうち応募・受験したのは二〇名。決して多い数字ではない。年金受給年齢までゆとりある生活を送れる人は別として、多くの退職者はそうではないと思う。「ハローワークに行ったが、なんにも仕事がない」とつぶやいている退職者の話が聞こえてくる。決して高齢者に対する雇用の場が潤沢なわけではないのだ。

個人の判断だけでは済ませない関わりを

国労は従来やもすると個人対応となっていたこの問題について、十五年度に大宮支部で不合格者を出したという反省から、会社に対しても一定の指導を求める取組みを行ってきた。結果として十七年度は一定の満足できる形となって現われてきた。全体としては昨年十月の中労委における「昇進・昇格差別事件和解」が大きな影響を与えたと判断できるが、まだまだ乗り越えなければいけないものが多いのは事実だ。

遠慮なく相談を

一八年度シニア再雇用のスケジュールは五月末に応募意思の確認が行われる。八月には希望者に対して「再雇用の場一覧」を配布するなどの行為が予定される。スケジュールやその他の相談でも地区本部に来てもらうなり、電話なりでもいいので遠慮せずに相談してほしい。

「大宮地区本部」 国労大宮地区本部 26(〇六年三月六日)

アスベスト講習会

神奈川労災職業病センター 西田さんを講師に

二月二五日、自治労会館において「アスベスト問題学習会」

が開催された。当日は神奈川労災職業病センター西田さんを講師に、アスベストの危険性について学習した。

西田さんからは、アスベストとは、アスベストが原因で起きる病気などを中心に説明され、活発な質疑応答がされた。西田さんは、今後の取組みの重要性として、仲間の救済、労災認定、健康手帳の取得、健康診断、医師の増員などが求められていることを強調された。参加した感想であるが、アスベストについて我々があまりにも無知であること。また、政府や会社が情報を開示していないこと。今後の進め方として会社の調査を組合が確認する必要があると感じた。

西田さんへの質問とその回答について概要を報告する。

Q 郡山工場では、日々に業務で古い車間の窓枠から石綿が落ちてきている。会社は石綿は撤去済みとっているが、対策をどうすればよいか？

A 石綿が無いと言われている車両から出てくる？吹きつけについては厳しい規制ができてきているが、とにかくマスクをして作業すべきである。マスクはアスベスト対応のマスクとなる。

Q アンダーシールは今でも車両に使われている。我々はそれを剥がさないと言われていない作業である。どのような対応が必要か？

A 残念ながらシール材の規制は現在はない状況である。

Q 特殊健康診断は受診しているが、退職した人はそれ以降受診できない。退職後のフォロワーのアイデアはないか？

A 本来として健康対策を講じるべきと思う。健康管理手帳制度を適用させるようにすべきと考える。

学習会は、その他にも多くの質問や意見が出された。いずれにしても、人間の命がかかっている問題である。身近な問題として、日常的に係わっていかねばならないと感じた学習会であった。(報告 菊田)

「ろばた」国労東北工務事務所分会 590(〇六年三月一〇日)

第一回分会学習・討論会開催!

二日間で二名の仲間が集まり、率直な意見交換

三月七・八日の両日、第一回分会学習・討論会を開催しました。残念ながら勤務や所用などで参加できない方もいましたが、二日間で延べ二名の参加がありました。第一回のテーマは、分会大会に引き続き「昇進差別事件の和解を職場からどう考えるか」としました。

参加者からは、様々な方向から率直な意見交換がされ、あらためてそれぞれの思いを出し合い、そして認め合いながら、「みんなでどうするのか」を考えることの大切さを痛感しました。一昔前なら、どこの分会でも多かれ少なかれ「組合上部で決まったこと」「支部の指示」に従うことが運動とされてきた状況も無きにもあらずですが、このような討論の中で一人ひとりの組合員の考え方が出され、大切にされることこそが本来の労働組合の運動なのではないでしょうか。

昇進差別事件の和解によって、会社内の労使関係が急変すると考える仲間が少なくないですが、賃金面を含め職場の差別の現状、御茶ノ水駅においても営業係と営業指導係の矛盾(例えば日常的に営業係が営業指導係に様々な仕事を教えている現実。しかし年齢や仕事の経験年数からすれば当たり前のこと、職場の実情に合わない現状を会社は作り出している)は歴然で、ここに「どう切り込んでいくか」は、ただ単に「試験に合格する・しない」、または「合格するためにどうするか」という問題にとどまらず、「私たちがこれまで国労に残ってきたのはなぜか」「国労(的)運動とは何かを問い直すことが大切」などの意見も出されました。

意見の詳細については、公表しないのが分会大会のお約束ですから、別途まとめて皆さんにお渡しすることとします。第一

回の学習・討論会で何かの結論がたわけではありませんし、引き続きJRを取り巻く状況、国労の現状なども含めながら、来月も開催していきますので、万障繰り合わせの上、「ご出席いただければ幸いです」。

「分会ニュース」国労お茶の水駅分会 2(〇六年三月一五日)

千葉地本地域間異動者交流会

四〇人の参加で親睦深める

盛岡の異動者七人参加

二月一七日、国労千葉地方本部・会議室において、千葉地方本部「地域間異動者交流会」(四〇人参加)が開催をされ、盛岡地方本部からの赴任者も七人が参加をした。地本からは菊池副委員長が参加。

主催者を代表して土井・千葉地方本部執行委員長より、「地域間異動者の最中期には国労だけでも一八〇人いたが、現在は三四人(盛岡二一人)と六分の一に激減。組織展望確立に向け、今後も組織拡大に全力を挙げたい」との挨拶がされた。

東日本本部を代表して高野書記長より、「東日本全体では約七〇〇人が地域間異動で赴任中だが、会社はエリア異動等の新たな制度を提案。連日各地で事故が発生しているが、二月六日には入換車両が脱線して踏切や民家の塀を壊す重大事故が発生」と、情勢を含めて報告がされた。交流の中では、「駅間距離が短く、運転扱いの連続に戸惑った」「二度の地域間で両親を亡くしている。地元が恋しく、今年には復帰する決意だ」等の声が出されていた。また、「お互いに交流を図ることが出来、地本間の垣根が低くなった」と、労働者の「たくましさ」も報告された。一方では、雪害時の帰省先から赴任先への移動の取り扱いなど、改善すべき点はまだあることも改めて明らかになった。

一五時より始まった懇親会は大いに盛り上がり、お国自慢の民謡が出るなど、遅くまで親睦を深めた。

この間、綿々と続けてきた「地域間異動者交流会」は有意義なものであり、今回は参加できなかった仲間も次回は是非参加し交流・親睦を深めてほしい。

「国労盛岡」国労盛岡地本 1371(〇六年三月一〇日)

あまりに非常識!

「新幹線ネットワーク」第一八号(三月号)

航空機輸送との競争を特集・東京-酒田間の速達化を誇示

犠牲になられた皆さんがどう感じるか!

羽越線事故から三ヶ月しかたないというのに、JR東日本新幹線運行本部は、「新幹線ネットワーク三月号」で航空機旅客輸送の現状として、鉄道と航空機のシェア争いを特集しました。そこでは、東日本各地の空港と新幹線とのシェア・到達時分を比較した後、「在来線と連携した競争力強化」との小見出しで、「輸送量が延びて(ママ)いる庄内空港便に対抗するため」と「き二一三号」と「いなほ三三号」とを乗り継ぐ東京-酒田間最速三時間五五分と改正前比較で三四分短縮した列車を設定・・・と図解入りで誇示しています。さらに、東京-八戸を例に年間一日平均一人増えたら・・・万円の年間収入増としています。

羽越線事故は事故調査委員会原因調査されていますが、少なくとも「いなほ」のスピードアップ(九〇キロ-一二〇キロ/時)も一因ではないのかという指摘があります。

そのような時に、しかも死傷された皆さんがあられる中での特集記事は、いかにも非常識であり営利第一主義の経営陣の思惑が見えてきます。

「新潟運協」新潟運輸協議会 号外(〇六年三月)

歓迎 今野慎太郎さん(29歳)
一人でも万人の重み
 国労仙台地本・仙台総合車両所支部歓迎集会

会場は熱気ムンムン

去る三月一七日、仙台市において仙台総合車両所支部車体分会の今野慎太郎さんの歓迎集会が盛大に開催されました。この集会は久方ぶりの拡大、それも平成採用の仲間とあって、いやが上にも盛り上がり会場は熱気に包まれました。

「仙総支所に続こう」 仙台地本・太田委員長
 久方ぶりの拡大に感激しています。勇気と決意を持って加入して頂いた今野慎太郎さんに敬意を表します。仙総支所に続こう。

「いつかは国労と想ってた」 車体分会・今野慎太郎

今回はこのような歓迎会を開いて下さり感動しています。平成七年の入社ですけど、当時、入社の前日に他労組の人が入社式でボールペンを配っているのが受け取るなど言われた。何のことなのか分からなかったが、職場に配属になってからはじめて分かった。車掌区時代は、あんまり組合運動はしなかった。その時代に国労の人たちに優しくしてもらった。逆に向こうの組合は堅いというイメージがあった。幹総では、部品科、車体一科とわたり歩いたが、いつかは国労に加入しようと思っていたが、機会があつて加入したのが三月一日でした。本日はありがとうございました。

「国労さんだい」 国労仙台地本 2462(〇六年三月二日)

第一八回東日本本部自動車協議会
定期委員会報告
 議長 八百井 登士

第一八回自動車協議会定期委員会及び全分会長会議は、三月八日(九日)、福島県磐梯熱海町・福島県教職員弘済会「浅香荘」において、JRバス東北から一名、JRバス関東からOBも含んで二〇名参加、また、東日本本部から高野書記長が参加される中で開催されました。

定期委員会は佐藤(浩)副議長の司会で開会され、委員会の成立を全体で確認するとともに、座長に大倉事務局長の選出を行い、八百井議長からは以下の内容の挨拶を受けました。「関東の飲酒事件以後、全国のバス会社や関連する自動車輸送業界に点呼時におけるアルコール検知器の義務化や自動運転記録表の監視指導が更に厳しくなっている。東北においても、事業の選択と集中」を掲げ、不収益線を休止させ、収益性の高い高速線へのシフトへ積極的に進めるとともに、利用実態の多い都市間輸送は、格安バスの価格競争となつてきている状況である。規制緩和と需給撤廃後は、格安バスの新規参入が相次ぎ、運輸局の許可を受ける必要もなく必要に応じた運賃設定も可能であり、そのため利用実態の多い都市間に激増している現状であり、割引率も乱立し超割引夜行バスが運行されている。こうした無謀な価格競争がバス事業者をコスト削減に駆り立て、乗務員に過重労働を強い、輸送の安全を脅かし、規制緩和以降、乗務員の健康状態に起因する重大事故が多発しています。



関東でもつくばエクスプレスが開業となり、ドル箱的であった「つくば便、水海道便」などの乗車率が大幅に落ち込み、今年度の経営が赤字に転落すると社員に経営危機を強要しています。安心して働ける職場を作るために、引き続き、東日本本部と連係を密にしながら諸問題の解決を図るべく闘いを進めます」と挨拶を受けました。

その後、東日本本部の高野書記長からは、国労とJR東日本会社の昇進差別事件の和解等の情勢報告を受け、続いて、本年全国自動車協議会・磯部議長から全国のJRバス会社の職場実態等の連帯挨拶を頂きました。

大倉事務局長から方針の提起を行い、各委員、代表者から職場の実態、問題点の報告をいただきましたが、報告された職場実態は、「年休の取得問題」「特定勤務の取り扱い」「高齢者の再雇用の差別問題」「組合員の高齢化に伴う組織拡大」「臨時宿泊が多く食事代の負担増や在宅休憩時間がない」「身障者の車椅子の取り扱い」「年休を申し込むと公休や特休への移動が頻繁に行われている」「会社が赤字を強要し労働強化を強制している」「若い社員の勤労意欲が薄れ職場が暗い」等でした。出された多くの問題点について全体で質疑討論を行いました。

安心して明るく働ける職場・労働条件を作るために労基法・労安法・改善基準、基発三三九号等を学習し、第三者機関、団体交渉の活用を図り、ゆとりある勤務体系を確立するため、定年まで安心して働ける職場、労働条件を作る運動方針を全体で確認し、団結三唱で閉会しました。

JR不採用事件の早期解決を求める
全国キャラバン・連鎖集会日程

- 北海道コース
五月八日(二六日)・六月四日 北海道集結集会
- A 太平洋コース
盛岡地本六月五日(七日)・仙台地本六月八日(一〇日)
水戸地本六月一日(二日)・千葉地本六月二日(四日)
東京地本六月一日(二日)・高崎地本六月二日(四日)
- B 日本海コース
秋田地本六月五日(七日)・新潟地本六月八日(一〇日)
長野地本六月一日(二日)・高崎地本六月二日(四日)
東京地本六月一日(二日)・一六日
- 九州コース
五月二九日(六月四日)・六月二日 九州総行動
- C 太平洋コース
広島地本六月六日(七日)・岡山地本六月八日(九日)
近畿地本六月一〇日(一二日)・名古屋地本六月二日(四日)
静岡地本六月二日(四日)・東京地本六月二日(四日)・一六日
- D 日本海コース
米子地本六月八日(九日)・近畿地本六月一〇日(一二日)
北陸地本六月二日(四日)・東京地本六月二日(四日)・一六日
- E 四国コース
六月八日(六月二日)

がん予防・検診から治療まで、とことん支援!

健康支援会キープラス! 通院も入院も同額保障!

がんの保障 + がんケアの保障

健康応援団MAX

健康代行店
アベニール 株式会社

〒155-0004 港区新橋5-15-8 交通ビル2F
TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822

アフラック(アフラック生命保険株式会社)
東京第三営業本部 第三支社
〒183-0466 新橋区西新橋4-1-1 新橋三州ビル
Tel.03-3344-1889 Fax.03-3344-4036

資料請求したいお客様は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。

詳しくは、パンフレットや「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。